

授業科目名	栄養・生体制御と主要疾患
科目番号	01ER633
単位数	1.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 応談
担当教員	Prof. Jochen Lang、Prof. Jean-Pierre Savineau、Associated Prof. Matthieu Raoux、
授業概要	<p>糖尿病や心臓血管病など代表的な人の慢性疾患は、遺伝的背景と重要な栄養成分が関連する生活習慣の相互作用が特徴である。極端な場合、障害が「メタボリックシンドローム」を引き起こし、グルコースホメオスタシスや心臓血管に影響を与えることもある。近年、肥満や栄養に関連する疾病が増加し、栄養や生活習慣が健康に影響を与える根拠を理解する必要性がさらに高まっている。</p> <p>本講義では、通常および修正後の栄養ホメオスタシスモデルと実例を紹介し、動物モデルへの影響を学習する。全身、臓器、細胞レベル、分子レベルでの栄養のシグナル伝達、統合、短期的な実験効果、長期的な疫学調査を中心に学ぶ。</p>
備考	ボルドー大学にて英語にて実施
授業形態	講義
教育目標との関連	糖尿病や心臓血管病等、栄養摂取や肥満に起因する疾病のメカニズムや、それらが健康に与える影響を学修することにより、健康と食資源の結びつきに関する専門力を涵養する。
授業の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養状態が、いかに主な重要機能を制御し、生理学的設定値を定義し、それに影響を与え、変化させるのかについて総合的視野を持つ。 ・ 栄養素や薬の分子的影響だけでなく、実験的・治療的アプローチについて情報を得る。 ・ システムに影響を与える遺伝的景観の基礎知識を得る。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養感知、エネルギー分配、ホメオスタシスについて学ぶ。 ・ 栄養ホメオスタシスと心臓血管機能の分子、細胞、統合レベルでの基本概念について学ぶ。 ・ これらの研究で現在用いられている動物モデルと細胞モデルについて学ぶ。 ・ 類似調査の結果を読み取り、理解し、統合する方法を学ぶ。 ・ 人の健康にプラスとマイナスの影響を与える定義された病態と分子、および治療法の例から当該分野を探究する。 ・ 公開データの分析手法を修得する。 ・ 健康や病気における一部制御回路の事例研究を学ぶ。
履修条件	
成績評価方法（割合・評価基準・提出期限等）	感知メカニズム、生理学的・病理学的適応、または治療的介入（栄養学的/薬）のテーマについて議論し、いずれか1つの主な特徴に関する発表に参加しなくてはならない。発表での明確さと正確性は評価対象となる。また、聴衆からの詳細な質問に答えることが求められ、受け答えの正確さも評価する。
授業外における学習方法	主要テーマの調査準備をしなくてはならない。研究発表会で他の学生に発表しなくてはならない。
教材・参考文献・配付資料等	なし

Nutrition, Physiological Regulation and Major Human Diseases

栄養・生体制御と主要疾患
(ボルドー大学)

オフィスアワー	事前にお問い合わせのこと。
その他（学生に望むこと等）	
関連科目	
キーワード	